

事業番号	08 01 02	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	山岳高原観光推進費		部局	観光部	課・室	山岳高原観光課
			実施期間	S38 ～	E-mail	mt-tourism@pref.nagano.lg.jp

### 1 現状と課題

- ・山岳遭難件数はコロナ禍を経ていったんは減少したものの、行動制限の緩和とともに再び増加に転じ、全体の傾向としては平成25年をピークに高止まりの状況が続いている。
- ・年代別では、令和4年の遭難者310人のうち60代以上が141人（45.5%）と最も多く、うち死傷者数は84人（59.6%）と高い割合であることから、高年齢層への遭難対策が急務。
- ・今後は外国人登山者の増加も見込まれることから、安全・安心に登山を楽しめる環境の確立に向け、一層の遭難防止の取組、啓発活動が必要。また、遭難者の約8割が県外者という実態もあり、費用負担の在り方についても検討が必要。

### 2 事業目的

全国に誇る山岳県として、登山に関する安全対策を総合的に実施し、安全・安心に登山を楽しめる環境の確立を目指す。

### 3 事業目的を達成するための取組

- ①山岳遭難防止対策
- ・山小屋の燃料費等高騰対策支援金について、事業費が確定したことにより減額
- ※その他の事業は当初予算、6月補正及び9月補正のとおり
- ②安全登山の普及推進  
当初予算のとおり
- ③信州登山案内人の認定及び育成  
当初予算のとおり
- ④県山岳総合センターの運営  
当初予算のとおり

### 4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	60歳以上の山岳遭難者数	人	74	113	↘	141	↘	138	△	次期総合5か年計画において5年後（R9）の目標値を126人としており、初年度であるR5年度は138人を目標とする	
②	オンラインによる登山計画書の届出率	%	40	56	↗	60	↗	64	△	5年後（R9）の目標値を80%と設定し、初年度であるR5年度は4%増を目標とする	
③	信州登山案内人の登録者数	人	450	457	↗	460	↗	465	△	過去5年間（H28～R3）の増減人数の平均（4.4人）以上となる5人以上の増加を目標に設定	
④	講座の満足度（5点満点中4.5以上の割合）	%	95	92	↘	80	↘	80	△	コロナ感染拡大に伴い、R2、3年度は多数の講座を中止せざるを得なくなった。R4以降、講座の実施方法等を見直し実施していることを踏まえ、上位評価の割合80%を目標値として設定	

### 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
1-6①	県民生活の安全確保	60歳以上の山岳遭難者数	人	2020 (R2)	74	2021 (R3)	113	2022 (R4)	141	2027 (R9)	126

### 6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額				合計 (予算現額)	うち一般財源	決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	うち今回補正額				
R5年度	0	82,572	23,250	△ 5,850	105,822	75,623	124,245	3.0
R4年度	0	82,037	74,580		156,617	81,065	138,509	3.0
R3年度	0	82,086	60,228		142,314	121,235		3.0

事業名	山岳高原観光推進費	部局	観光部	課・室	山岳高原観光課
-----	-----------	----	-----	-----	---------

細事業 No.	細事業名		R3年度 予算現額	R4年度 予算現額	R5年度 予算
1	山岳遭難防止対策事業		103,814 千円	118,026 千円	予算現額 うち今回 補正額 67,694 -5,850 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	長野県山岳遭難防止対策協会負担金	負担金	登山者の遭難の未然防止、迅速な救助活動の推進のため、長野県山岳遭難防止対策協会が行う事業に対し、負担金を支出 山岳遭難防止常駐隊7～10月設置、山岳診療所開設支援13ヶ所、地区遭難対策協会への補助13地区		
2	涸沢山岳総合相談所管理委託	委託	安全登山のための注意喚起や山岳情報等提供を行うため、涸沢山岳総合相談所の維持管理を委託 相談所開設期間4～11月(8か月)		
3	山岳遭難防止対策推進員の設置	直接	山岳観光及び山岳遭難防止活動の推進のため、山岳遭難防止対策推進員を設置 山岳遭難防止対策推進員1名を配置		
4	山小屋の燃料費等高騰対策	交付金	物価高等の影響による山小屋の公益的機能低下等を回避するため、支援金を給付。 ※事業費が確定したため減額（27,100千円→21,250千円） 支援金を給付する山小屋 136施設		
5	インバウンド向け冬山安全対策事業	負担金	バックカントリースキーを中心とした冬山遭難防止のため、情報発信・啓発を強化 多言語サイトによる情報発信(随時)、啓発チラシの製作・配布4千枚		

細事業 No.	細事業名		R3年度 予算現額	R4年度 予算現額	R5年度 予算
2	安全登山普及推進事業		8,279 千円	6,636 千円	予算現額 うち今回 補正額 6,668 0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	条例の周知と安全登山の啓発	直接	条例の周知、安全な登山の啓発、及び信州の山の魅力を発信するための広報を実施 信州山岳アカデミー WEB・登山用品店等 計5回、夏山フェスタにおける啓発(7月)		
2	登山計画書を提出しやすくする環境の整備	直接	FAXによる登山計画書の受理など登山計画書の届出環境を整備 FAXによる届出数 約700件/年、条例看板の修繕予定数 3ヶ所		
3	登山ポスト回収事務費補助金	補助金	登山計画書の回収及び管理事務を地区遭対協と県の協働で実施するため、地区遭対協等が実施する登山ポストからの登山計画書回収費用の一部を補助 補助対象 地区遭難対策協会等、登山ポスト数93ヶ所		

細事業 No.	細事業名		R3年度 予算現額	R4年度 予算現額	R5年度 予算
3	信州登山案内人利用促進事業		3,750 千円	3,856 千円	予算現額 4,694 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州登山案内人試験及び登録事務	直接 委託	信州登山案内人試験の実施及び登山案内人の登録等を実施 試験の実施 年1回、資格更新登録120人/年		
2	既有資格者の資質向上	直接	信州登山案内人能力向上研修（実技、座学）の開催 研修開催数 実技研修10回程度、座学研修2回		

細事業 No.	細事業名		R3年度 予算現額	R4年度 予算現額	R5年度 予算
4	山岳総合センター管理運営事業		26,471 千円	28,099 千円	予算現額 26,766 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	山岳総合センター指定管理料	指定管理	山岳総合センター指定管理料 受託者：一般社団法人長野県山岳協会事業管理 安全登山講座、野外活動講座の開催 約80回		
2	山岳総合センターあり方検討会の実施	直接	山岳総合センターあり方検討会の実施 有識者等による検討会の実施2回		